

## ⑦ 広報よこしば

後継者の配偶者選びは深刻な問題であり、特に「お嫁さん探し」が急務なので、婦人の相談員5名を委嘱して広く情報交換を行っている。

活動は、各相談員が担当区域で申し込みを受け、連絡会議で情報の交換をするほか、山武郡市の連絡会議を開いて、広域的に連絡をとりあっている。

今後は、独身青年の交流の場を多くつくるなど、相談員を中心に、各地域の方々の協力を得ながら、幅広い活動を展開していきたい。

### 開発公社の設置

**問** 都市計画に基づく各種の開発計画に先がけて、公社などの機関をつくってはどうか。

**答** 現在、そのような機関を設置する考えはない。行政改革を推進していく上からも、公社などの機関をつくることは避ける方針である。

### 諮問機関

#### などの現況

**■** 付属機関の機能性

**問** 条例で定められた付属機関（諮問機関）は、有効に機能しているか。

**答** 町の条例に基づいて設置し

た諮問機関は20ある。それぞれの機能・活動内容を再検討し、機能を果していないものがあれば、整理統合していかなければならない。



社会教育の拠点文化会館

**■** 町の計画と諮問機関

**問** 町の基本構想・基本計画の策定にあたって、諮問機関をどのように活用しているのか。

**答** 昭和57年に改訂した「第2次5か年計画」の策定時には、各課の委員で構成する横芝町総合計画調整委員が主体となって、住民アンケート調査の結果を参考に原案を作成し、それを総合開発審議会に諮って決定した。今後の計画策定にあたっても各分野で十分審議を重ね、さらに諮問機関に諮りながら、21世紀に向けた計画的な町づくりを

推進していきたいと考えている。

**■** 社会教育関係の人事

**問** 社会教育関係職員の人事は、社会教育法に基づいて教育委員会が行うことになっているが、事実上は町長部局で決定している感がある。独立機関としての教育委員会の権限をどう考えるのか。

**答** 教育長部局の人事は、町全体の人事の中で考える方針であり、あらかじめ人事担当課と十分協議した上で教育委員会が任命している。

従って、教育委員会の権限が損なわれているわけではない。むしろ、活力ある公民館活動などは、このような人事による利点だと考える。

### 物品購入と

#### 業者の選定

**問** 物品を共同で購入する場合の利点は。また、町内業者を優先するなどの措置はとっているのか。コピー・ワープロなどのリース業者の選定は、どのような基準で行っているのか。

**答** 物品の共同購入は、非常に安く購入できるという利点があり、経費の節減に役立っている。購入にあたっては、町内業者を優先するという原則で行ってきた。

また、今回新たにワープロを導入したが、機種を選定するために半年間4社の製品を試験使用し、価格・機能面ですぐれたものを最終的に決定した。今後と同様に行う方針である。

### 工業団地計画

**問** 工業団地計画は、10数年を経過した現在も実現に至っていない。町は今後も重点施策として取り組んでいく考えがあるのか。

また、民間ゴルフ場開発との関連で打ち出された新計画は、現在どのように進展しているのか。

**答** 工業団地計画は、将来にわたる町政の最重要課題の一つである。場所の選定、優良山林の存在などから、用地買収が進展せず、実現に至っていないこと



着々と工事が進む坂田遠山線

は誠に遺憾なことと考える。

今回の計画は、民間活力によって、ネックとなっている用地問題を解決していくと、ゴルフ場計画に同意したものである。工業団地は県（企業庁）との共同開発による計画なので、町と県で組織している委員会で新計画の承認を得た後に、ゴルフ場開発の手続きと併行して進めていく考えである。

工業団地の実現までには、まだまだ多くの問題が残されているが、一つ一つ解決を図りながら、町政の悲願である工業団地の完成に向けて、最大の努力を注いでいきたい。

### 坂田遠山線

#### への取付道路

**問** 坂田遠山線改良工事は順調に進ちよくしているが、これに接続する取付道路の整備計画はどうなっているのか。

**答** 現在、坂田遠山線の完成に向けて、集中的に予算を投入しているところである。

これに接続する通学路や農道は50数本あり、坂田遠山線の完成のメドが立った時点で、利用度の高いところから順次整備を行い、道路網の充実を図っていきたいと考える。